

旅

の話題

ユーコン準州に隣接

秘境の地、BC州アトリン

〈案内 カービー・シミズ・ミドリ〉

アラスカハイウェイ沿いにあるユーコン準州の町「ミニョ」(テスリ)を過ぎ、さらに1時間ほど準州の首都ホワイトホースに向かって北上して行くとジエイクスコーナというガステーションがある。その向かい側、進行方向に対して左手に蛇行する砂利道を約90キロ、車で1時間ほど山岳地帯を行くと、ミニョ(アトリン)という小さな町につきあたる。

そこに行き着くまではほとんど家もなく、目にするものは広大な山々、美しい自然湖アトリン・レイクをはじめとする湖の数々、そして野生の動物達。

バンクーバーから2700キロほど北上した所にある人口約400人あまりのこの町は、その約30%が先住民族のクリンゲット族、そのほか先住民族以外のカナダ人、ヨーロッパ各国や米国からの移民者で成り立っている。

その中で私は唯一の日本人。夫は半分クリンゲット族の血を引き、彼の母方の祖先はここで育った。子供たち3人と家族5人でここでの生活を始めてから今年ではや3年目になる。

アトリンの町には信号がない。レストラン、グロサリーストア、雑貨屋兼みやげ物屋、バーがそれぞれ2軒ずつ。主な買い物、銀行、医療機関、そしてレジャー(映画、スイミング、屋内スケート、そのほかもろもろの娯楽)はここから車で約2時間かかるホワイトホースまで行かなければならない。

BC州でありながら、生活の基盤のほとんどがユーコン準州政府の元に成り立っているというようなユニークな町なのである。

1800年代末から1900年の初めにかけて、ユーコン準州の最初の首都となる Dawson City



雄大な風景が望めるアトリン近辺の山脈



アトリンはヘリスキーのメッカでもある

の関係者、観光客でカリスマのにぎわいを見せたものの、金鉱発掘量の衰退とともに一部の人を除いて皆この町を離れていった。

当時の金鉱発掘に関連する文書を読むと、この発掘に調理師を含む約150人の日本人がBC州南部のカリフォルニアあたりから低賃金で雇用され送られてきたが、すでにいた白人の鉱夫達が仕事口を失う危機にさらされるといふ理由で、調理師を除いて皆、短期間でここに留まることなく帰されている。ゴールドラッシュの繁栄がうそのように木本草草に覆われたデコ

(ドーソンシティ)を中心に、その近辺から膨大な金鉱が発掘された。アトリンもその一区域で、この後にクロンダイクゴールドラッシュと呼ばれる一大行事を機に、それまでほとんど未開の地であったこの場所に物資を調達するためのルート、通信機関が早急に設置されていった。

その後、ほんの数年間ではあったが、多い時では1万人、鉱夫やそ



▲ヘリスキーの醍醐味

ンされたレンタルスキー板、そしてABSアバラランチ・エアバッグが含まれる。
 プライベートは1グループ(4~8人)でヘリを予約することが可能で料金は割高。
 詳しいことを知りたい方は別記の連絡先まで電話かメールでおたずね下さいとのこと。ワイルドな山々を思わせる元気なレオ氏の声が聞けるかも知れない。

ボコの激しいマイニングロードを4WDで登って行くと、赤茶けたさび付いた巨大な機械の一部が、広範囲に渡ってばっくりとえぐられた地肌を背に、ぼつんと横たわっている。それはあたかも利益が目がくらんだ人間の心の奥底のようで、何とも見るに堪えない。

比較的静かでひっそりとした町アトリンだが、実はここ、知る人ぞ知る「BC州のアルプス」と言われ、「ヘリスキー」のメッカなのである。お世辞にもパンフやウイスキーのように「お洒落なりリゾート地」とは言えないが、その知名度は世界各国、こよなくワイルドライスキーを愛し、ひたすら白銀の世界でそかに増えつつあるのだ。

この町で、KONDIKE HELISKING(クロンダイクヘリスキング、以下KHS)の運営者、レオ・シユタイナリー氏に話を聞いてみた。彼はオーストリアに住まいを持ちヘリスキーシーズンの約半年間を、ここでビジネスに費やしている。内容はスキー客の希望に応じてパッケージとプライベートがある。パッケージツアーは土曜に現地入りし、翌週土曜に帰るという1週間単位のもので、土曜の朝、飛行機でホワイトホースに到着した旅行者をピックアップし、アトリンに来る。

グループの規模は5人1組で1週間に4グループまでとアットホームな雰囲気。これにはヘリの待ち時間が短くて済み、スキー客一人一人に安全も含めて十分な配慮が行き届くという利点がある。それぞれのグループに現地の地理にも詳しくヘリスキーのエキスパートであるガイドが付き、パイロットもベテラン。ヘリも毎日チェックされ、万全の安全態勢が

取られている。

KHSの滑走エリアは、アトリン周辺の山岳地帯およそ6000平方キロで、250ほどのルートがある。この広さはオーストリアのチロル地方の約半分に値する。

山岳地帯にある湖は海拔7000、最高峰は2800、標高約2000という最高のスノーコンディションと無理なく呼吸ができる位置で、山頂から滑走距離にして平均約2~4キロ、天気が許す限り6日間思う存分スキー、またはスノーボードを楽しむことができる。

思いつきり滑った後はレストランで夕食をとり、地元のログキャビンで翌日のためにゆつくりと身体を休める。夜空に揺れる緑や青や赤のオーロラを目にすることもまれではない。

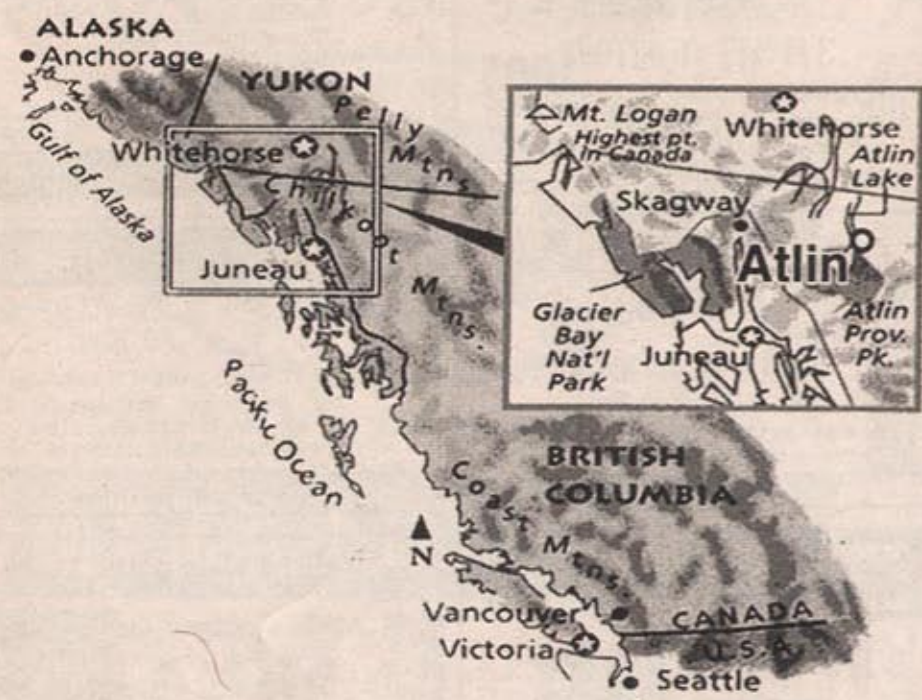
95年の開設以来、ヘリ飛行が不可能だった日は平均して1週間のうち2日とない好成绩が自慢のKHSではあるが、そこは自然現象、万が一、悪天候でヘリでの山頂到達が困難な時のために、北方ならではのオブショナルツアーも準備している。

アイスフィッシング、スノーモービル、犬ソリ、ゴールドパニング、カーリング、スノーシューイング、地元ミュージアム巡り、また、地元の猟師や金鉱跡を訪ねたり、先住民の文化を垣間見たりと盛りだくさん。

そしてなにより嬉しく、また、ほかのヘリスキーと違う点は、地理的にここでは5月までスキーを楽しむ、かつ日照時間が4月には午後9時までと長くなるため、たとえ朝、山頂に行けずとも、天気が回復すれば昼から夜9時近くまでスキー/スノーボードができるというところ。

何はともあれKHSの最終目的は、参加者全員に普段の慌ただしい生活から解放されストレスフリーで、変に観光地化されていないこのワイルドな大自然を思う存分エンジョイしてもらうこと。好きなスキー/スノーボードを楽しみながらゆつくり自分とも向かい合える絶好の場所だといえる。

気になるお値段の方だが1週間単位(6日間)のパッケージで\$4690(+GST)から\$5865(+GST)。これはホワイトホース発着の交通費、宿泊費(7泊)、朝食、昼食、3夕食、ヘリ飛行、ファットスキー(ヘリスキー用にデザイン



Kondike Helisking
 Leo Steiner
 P.O. Box 377, Atlin, BC
 V0W 1A0
 ☎/FAX(250)651-7474
 Eメール: Steiner@telro.com
 ウェブ: www.atlinheliski.com
 日本語での案内が必要な方は、気兼ねなくご連絡下さい。
 Midori Shimizu
 Kirby-Midori's B&B
 P.O. Box 288, Atlin, BC
 V0W 1A0
 ☎/FAX(250)651-0096
 Eメール: midori.kirby@hotmail.com